

科目名称：	プログラミング演習Ⅱ(美術学科)	
担当者名：	瀬戸 就一	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
プログラミング演習ⅡはJavaScriptを利用して数多くの演習課題を行い、Webブラウザ上で実行できる基礎プログラミングを学修することを目的とします。ただし、プログラミングの作成技法に関しては自己学修が前提です。		
授業の達成目標・到達目標		
<ul style="list-style-type: none"> <li>JavaScriptの概念を理解し、String, Math, Dateの組み込みオブジェクトを使った簡単なプログラムが書けること。</li> <li>関数の基本や配列（Arrayオブジェクト）の操作を理解すること。</li> </ul>		

美術学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、主に基礎教育科目により、基礎知識を修め幅広い教養を身につけ、多様な文化や考えに対応できる。	
DP(2)	主に専門科目により、美術に関する理解を深め豊かな表現力を身につけ、社会の一員として貢献できる実践力を身につけている。	
DP(3)	多様な社会に対応できるように、自己表現を深化させながらも他者の意見を尊重し、様々な表現を受け入れる豊かな人間性をもっている。	
DP(4)	様々な課題に取り組み、応用力と創造力を身につけて、その中から自己の個性を磨き表現できる。	○

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
美術DP(1)					0
美術DP(2)					0
美術DP(3)					0
美術DP(4)	50	30		20	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
簡単なプログラム作成	Webブラウザ上で実行できるJavaScriptの基本的な命令を理解し、適切なアクションによって反応するプログラムを作成できる。	Webブラウザ上で実行できるJavaScriptの基本的な命令を理解し、指示通りに反応するプログラムを作成できる。	指示通りに反応するプログラムを作成できる。	JavaScriptのプログラムを作成できない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 JavaScriptとは？コンソールで実行してみよう	JavaScriptとはどんな言語か、教科書P14, P26, P39を予習しておくこと。	30分
第2回 プログラムをHTMLファイルに記述してみる	教科書P38, P49～P60の命令を予習しておくこと。	30分
第3回 JavaScriptの基本を理解しよう1	教科書P61の代入演算子、P65の文字列→数値変換について予習しておくこと。	60分
第4回 JavaScriptの基本を理解しよう2	教科書P79～P81のインスタンス/スタックの命令と属性について予習しておくこと。	60分
第5回 if文を使った計算プログラム	教科書P83, P84, P86～P90のif文のプログラムを予習しておくこと。	60分
第6回 演習1：ディスカッションを交え、if文を使った計算プログラム	授業中の課題を最後まで取り組むこと。	60分
第7回 if、switch、forの練習プログラム	教科書P97の条件判断について予習しておくこと。	60分
第8回 While文の書き方	教科書P82, P91でifとswitch復習、P83で画面入力、P105～P108でWhile文を予習。	60分
第9回 Dateオブジェクト	教科書P110のオブジェクト操作、P113の変更不可/変更可能な値を予習。	30分
第10回 Stringオブジェクト	教科書P117-126のstring, length, charAT, indexOf, slice, substringオブジェクトを予習。	30分
第11回 Mathオブジェクト	教科書P129からのMathオブジェクトを予習しておくこと。	30分
第12回 演習2：ディスカッションを交え、乱数を使ったゲームプログラム(Math.random)	乱数プログラムの復習をしておくこと。	60分
第13回 変数のトレース	授業で配付したプリントをよく復習しておくこと。	30分
第14回 変数のトレース小テスト、テスト解説	テスト解説をよく読んで復習しておくこと。	30分
第15回 模擬テスト、テスト解説	JavaScriptの命令をよく復習しておくこと。特に画面入力と数値変換。	60分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。  
また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント(小レポート)をまとめることになる。

成績評価の方法・基準
定期試験は、50%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。 小テストで30%、授業への積極的な参加で20%の評価をする。
課題に対するフィードバック
授業の課題を評価し、返却する。
教科書・参考書
教科書：きちんとわかる！JavaScript とことん入門 (株式会社評論社)